

( )

1.

가  
가. 가  
80 2  
,  
.  
.  
.

2.

가.  
.  
.  
.  
가  
.

1.

.

2.

가.

( " " )

.

.

.

.

.

.

.

3.

179

182

.

4.

가. ( )

가

.

. ( )

.

. ( )

(1) 가  
가

,

.

(2)

,

,

.

(3) 가

,

.

(4)

가

가

,

.

.

. ( )

.

(歷)

.

. ( )

가

.

5.

가. 1973. 11. 1 .

.  
.

1. ( ) 1980 4 15 .

2. ( )  
.

1. ( ) 1982 4 15 .

2. ( )  
.

< >

1. ( ) .

가. 가 가

.

.

179

182

( ) 3

.

.

가

.

.

.

.

가

.

.

,

,

.

2. ( )

.

가. 自然人 密輸

類 型	違反法條	行 政 制 裁		關係法規	所管部処
		基 準	內 容		
1. 乗務員 密輸				航空法 第 27 條	交 通 部
가. 外航船	関税法	犯則時価	外航禁止 3 月	船舶職員法	海運港湾庁
나. 航空機	第 179 條 乃 至 第 182 條	100 萬 원 以上 300 萬 원 未滿 의 初犯 犯則時価 300 萬 원 以上 의 初犯 犯則時価 50 萬 원 以上 200 萬 원 未滿 의 累犯	外航禁止 6 月       外航禁止 6 月	第 11 條	



	200 萬圓以上	外航禁止 1 年		
	의 累犯			
	密輸專用船	免許取消 또는		
	乗務員	外航禁止 1 年		
	水産物運搬船		水産庁告示	水 産 庁
	犯則時価	当該船舶 外	第 19 號	
	300 萬圓以上	航運航制限	( 水産物	
	500 萬圓未満	3 月	運搬船 外	
	의 累犯		航 運航事	
	1,000 萬圓 以上	"	業 免許処	
	1,500 萬圓		分 要領)	
	未満의 初犯			

類 型	違反法條	行 政 制 裁		關係法規	所管部處
		基 準	內 容		
2. 一般人 密 輸 (僑胞及 外国人除外)		犯則時価 500 萬圓以上 1,000 萬圓未満 의 累犯	当該船舶 外 航運航制限 6 月		
		1,500 萬圓以上 2,000 萬圓未満 의 初犯	"		
		犯則時価 1,000 萬圓以上 의 累犯	当該船舶 外 航運航制限 1 年		
		2,000 萬圓以上 의 初犯	"		
外. 旅行者 密 輸 (別送品) (包 含)	関税法 第 179 條乃至 第 182 條	犯則時価 200 萬圓以上 500 萬圓未満 의 初犯	1 年間 旅券 発給制限 及 回收外 出国 禁止	旅券法 第 8 條 及 第 11 條	外 務 部

其 他 密 輸 A.P.O P . X 國際郵 便小包 託送品 密 輸		犯則時価 200萬圓以上 500萬圓未満 의 累犯  犯則時価 500萬圓以上 의 初犯  犯則時価 500萬圓以上 의 累犯	2年間 旅券 発給制限 및 回收外 出国 禁止  "	出入国管理法 第4條	法 務 部
--	--	--	---	---------------	-------

나. 業務關聯 密輸

(1) 關稅士等 指定保稅 運送人 및 特許保稅區域 設營人의 密輸

類 型	違 反 法 條	行 政 制 裁		關 係 法 規	所 管 部 處
		基 準	內 容		
1. 關稅士等 ・通關業者 ・通關法人 ・關稅士	關稅法 第179條 乃至 第182條	그 使用人이 本人의 業務에 關하여 密輸에 關与한 때	1年以下의 業務 停止	①關稅法 第160條의 3 第168條 ②通關業運營要綱 第25條 第45條	關 稅 庁 "
2. 指定保稅 運送人 ・特別保稅 ・運送人 및 ・簡易運送 人	"	그 使用人이 本人의 業務에 關하여 密輸에 關与한 때	1年以下의 營業 停止	保稅運送制度運營要領 第29條	"

		指定保税 運 送人이 密輸 에 関与한 때	指定取消	同要領 第 29 條	
3. 特許保税 区域 設 営人	関税法 第 179 條乃至 第 182 條	그 使用人이 本人의 業務 에 関하여 密輸에 関与 한 때  設営人이 密 輸에 関与한 때	1 年以下의 物品 搬入 停止  特許取消	関税法 第 80 條	関 税 庁

(2) 港灣內 業者의 密輸

類 型	違 反 法 條	行 政 制 裁		關 係 法 規	所管部処
		基 準	內 容		
1. 港灣運送 事業人	關稅法 第179條乃至 第182條	그 使用人이 本人의 業務 에 關하여 密輸에 關与 한 때	1 年以下의 營業 停止	港灣運送事業 法 第26條	海運港灣庁
		事業人이 密 輸에 關与한 때	營業 取消		
2. 港灣附帶 事業者	關稅法 第179條乃至 第182條	그 使用人이 本人의 業務 에 關하여 密輸에 關与 한 때	6 月以下의 營業 停止	港灣運送事業 法 第26條 의 2	"

		事業人이 密 輸에 関与한 때	營業 取消		
--	--	-----------------------	-------	--	--

(3) 오판商 및 輸出入業者等の 密輸 (使用人이 本人의 業務에 関하여 密輸行為를 한 境遇 包含)

類 型	違反法條	行 政 制 裁		關係法規	所管部處
		基 準	內 容		
1. 오판商 및 輸出入業 者	關稅法 第 179 條 (第 182 條)	犯則時価 不 問	1 年以下の 營業 停止	貿易去來法 第 30 條	商 工 部
	關稅法 第 180 條 (第 182 條)	關稅通脫 稅 額 300 萬圓以上	"	"	"
	關稅法 第 181 條 (第 182 條)	犯則物品 原 価 500 萬圓以上	"	"	"
		上記 各基準 의 果犯	登録 또는 許可 取消	"	"

類 型	違反法條	行 政 制 裁		關係法規	所管部處
		基 準	內 容		
2. 輸入貨主 (実貨主) 受 輸 出 物 品 製 造 業 者	関税法 第 179 條 (第 182 條)	犯則時価 不 問	1 年以下의 関税制度上 諸特惠支援의 一部 또는 全部 中止		関 税 庁
	関税法 第 180 條 (第 182 條)	関税遁脱 税 額 300 萬 원 以上	"		
	関税法 第 181 條 (第 182 條)	犯則物品 原 価 500 萬 원 以上	,		
		上記 各基準 의 累犯	1 年以上 2 年以下 関税 制度上 諸特 恵 및 支援 의 一部 또 는 全部 中 止		



다. 公務員의 密輸

公務員, 国营企業體 및 政府管理 企業體의 任職員에 對하여는 懲戒 또는 罷免 措置한다.

# 新 舊 條 文 對 照 表

現 行	改 正
關 稅 事 犯 에 대 한 行 政 制 裁 指 針	
<p>1. 目 的</p> <p>財政收入과 國民經濟發展을 阻害하는 密輸行為에 대하여 刑事處罰外에 行政的인 制裁를 併科하므로써 發生素地를 根源的으로 塞源하는데 그 目的이 있다.</p> <p>2. 指 針</p> <p>가. 根源的인 關稅事犯에 대하여 行政制裁(以下“制裁”라 한다.)를 併科하여 密輸의 根源을 封鎖한다.</p> <p>나. 業務와 關聯한 密輸는 行為者를 處罰하는 外에 業主에 대하여도 同時에 制裁를 科하여 業主의 自律的인 監督을 促求한다.</p> <p>다. 關係部處의 有機的인 協助體制를 強化하여 密輸의 發生素地를 一掃한다.</p> <p>라. 關係部處는 이 指針에서 定한 行政制裁 基準에 따라 關係法規의 範圍內에서 必要한 自体施行細則을 制定 施行한다.</p> <p>3. 制裁對象</p> <p>關稅法 第179條 乃至 第182條 및 同法 第186條의 2 第1項을 違反한 者中 別表 制裁基準의 規定에 該當되는 者로 한다.</p>	<p>1. 目 的</p> <p>現行과 同</p> <p>2. 指 針</p> <p>가. 根源的인 關稅事犯中 巨額 또는 常習的 密輸事犯에 ……………</p> <p>나. 現行과 同</p> <p>다. ”</p> <p>라. ”</p> <p>3. 制裁對象</p> <p>關稅法 第179條 乃至 第182條를 違反한 者中……………</p>

現 行	改 正
<p>4. 制裁要領</p> <p>가. ( 制裁의 要請 ) 關稅庁長은 關稅事犯이 通告의 要旨를 履行하거나 公訴가 提起된 때에는 所管部處에 該當制裁를 要請한다.</p> <p>나. ( 處理期間 ) 關稅庁長의 制裁要請을 받은 當該部處는 即時 別表基準에 依한 該當制裁를 科하고 그 結果를 關稅庁長에게 通報한다.</p> <p>다. ( 制裁의 猶豫等 )</p> <p>(1) 關稅庁長은 國家利益을 爲하여 所定의 制裁를 科할 수 없는 特別한 事由가 있다고 認定될 때에는 그 事由를 明示하여 關係部處의 長에게 制裁의 猶豫, 減免 또는 解除를 要請할 수 있다.</p> <p>(2) 關係部處의 長은 前項의 要請을 받은 境遇 즉시 制裁를 猶豫, 減免 또는 解除하고 그 結果를 關稅庁長에게 通報한다.</p> <p>(3) 關係部處가 直接 制裁의 猶豫, 減免 또는 解除에 關한 事項을 接受하였을 境遇, 必要하다고 認定되는 때에는 이를 關稅庁長에게 移牒할 수 있다.</p> <p>(4) 制裁를 科한 關係部處의 長이 國家利益을 爲하여 所定의 制裁를 科할 수 없는 特別한 事由가 認定될 때에는 制裁의 猶豫, 減免 또는 解除를 할 수 있다. 이 境遇 關係部處는 그 事由를 明示하여 關稅庁長에게 通報하여야 한다.</p> <p>라. ( 制裁期間의 算定 )</p>	<p>4. 制裁要領</p> <p>가. ( 制裁의 要請 ) 現行과 同</p> <p>나. "</p> <p>다. "</p> <p>(1) "</p> <p>(2) "</p> <p>(3) "</p> <p>(4) "</p> <p>라. "</p>

現 行	改 正
<p>① 制裁期間은 制裁를 科한 날로부터 起算한다.</p> <p>② 年 또는 月로써 定한 期間은 歴에 따라 起算한다.</p> <p>마. (制裁効力の 繼承) 制裁를 받은 法人의 代表가 同種의 法人을 設立하여 그 任員이 되었을 때에는 既히 処分된 制裁의 効力は 繼承된 것으로 본다.</p> <p>5. 施行日</p> <p>가. 本 指針은 1973. 11 . 1 부터 施行한다.</p> <p>나. 本 指針에 依한 制裁는 本 指針 施行日 以後에 犯行한 者부터 適用한다.</p> <p style="text-align: center;">附 則 (1980.4.15 改正)</p> <p>1. (施行日) 本 指針은 1980 年 4 月 15 日부터 施行한다.</p> <p>2. (經過措置) 本 指針施行當時 從前의 規定에 依하여 制裁中인 者 또는 制裁를 받은 者에 對하여는 本 指針을 適用한다.</p>	<p>現行과 同</p> <p style="text-align: center;">"</p> <p style="text-align: center;">附 則</p> <p>1. (施行日) 本 指針은 1982年 4 月 15 日부터 施行한다.</p> <p>2. (經過措置) 本 指針施行當時 從前의 規定에 依하여 制裁中인 者 또는 制裁를 받은 者에 對하여는 本 指針을 適用한다.</p>

現 行	改 正
<p>(別表)                      行 政 制 裁 基 準</p> <p>1. (用語의 定義) 이 基準에서 使用되는 用語의 定義는 다음과 같다.</p> <p>가. 犯則時価라 함은 税関官署에서 作成한 犯則鑑定書上の 時価를 말한다.</p> <p>나. 再犯 이라함은 關稅法 第179条 乃至 第182条 및 同法 第186条의 2 第1項의 規定에 依하여 通告処分 또는 罰金以上の 刑의 宣告를 받고 그 執行을 終了 또는 免除받은 날로부터(執行猶豫의 境遇는 刑의 宣告日) 5年 以内に 다시 本 制裁基準에 該当하는 罪를 犯한 者를 말한다.</p> <p>다. 輸出入業者라함은 貿易去來法の 規定에 依하여 輸出入業의 許可를 받은 者를 말한다.</p> <p>라. 輸入貨主라 함은 輸入申告時의 輸入実貨主를 말한다.</p> <p>마. 輸出物品製造業者라 함은 輸出物品을 製造加工하여 輸出하거나 外貨 決済에 依한 軍納을 하거나 또는 内国信用狀에 依하여 販売할 物品의 製造業者를 말한다.</p> <p>바. 使用人の 行爲라 함은 法人의 任員·職員·使用人이나 本人의 使用人이 法人 또는 本人의 業務에 關하여 行한 行爲를 말한다.</p> <p>2. (制裁의 基準) 關稅事犯에 對한 行政制裁는 類型別로 다음의 基準에 依한다.</p>	<p>1. (用語의 定義)    現行과 同</p> <p>가.                    現行과 同</p> <p>나. 再犯이라 함은 關稅法 第179条 乃至 第182条의 規定에 依하여 ..... 3年 以内に 다시 本 制裁基準에 該当하는 罪를 犯한 者를 말한다.</p> <p>다.                    現行과 同</p> <p>라.                    "</p> <p>마.                    "</p> <p>바.                    "</p> <p>2. (制裁의 基準)        "</p>

現 行						改 正					
가. 自然人密輸 (1) 入出国時의 密輸						가. 自然人 密輸 (1) 入出国時의 密輸					
類 型	違反法条	行 政 制 裁		關係法規	所管部処	類 型	違反法条	行 政 制 裁		關係法規	所管部処
		基 準	内 容					基 準	内 容		
1. 乗務員 密 輸 가. 外航船 乗務員	関 税 法 第 179 条乃至第 182 条	犯則時価 30 萬圓以上 50 萬圓未満	外航禁止 3 月	船舶職員 法第 11 条	海運港湾庁	1. 乗務員 密 輸 가. 外航船 및 航 空機	関 税 法 第 179 条乃至第 182 条	犯則時価 100 萬圓以上 300 萬圓未満 의 初犯	外航禁止 3 月	航空法 第 27 条 船舶職員 法第 11 条	交通部 및 海運港湾庁
		犯則時価 50 萬圓以上 100 萬圓未満	外航禁止 6 月	"	"			犯則時価 300 萬圓以上 의 初犯	外航禁止 6 月		
		犯則時価 100 萬圓以上 또는 30 萬圓以上 再犯	外航禁止 1 年	"	"			犯則時価 50 萬圓以上 200 萬圓未満 의 累犯	外航禁止 6 月		

現 行						改 正					
類 型	違反法条	行 政 制 裁		関 係 法 規	所 管 部 処	類 型	違反法条	行 政 制 裁		関 係 法 規	所 管 部 処
		基 準	内 容					基 準	内 容		
		密輸専用船乗務員	免許取消至 は外航禁止 1 年					200 萬圓以上 の 累犯	外航禁止 1 年		
		対日水産物運搬船		水産庁告示 第 17 号 ( 臨時 変更証発給要 領 )	水 産 庁			密輸専用船 乗 務員	免許取消 至は 外航 禁止 1 年		交 通 部 関 海運港湾庁
								水産物運搬船		水産庁告示 第 19 号 ( 水産 物運搬船 外航 運航事業 免許 処分要領 )	水 産 庁

現 行						改 正					
類 型	違反法規	行 政 制 裁		関 係 法 規	所管部処	類 型	違反法条	行 正 制 裁		関 係 法 規	所管部処
		基 準	内 容					基 準	内 容		
		犯則時価 500 萬圓以上 1,000 萬圓未 満	臨時変更証 発給制限 3 月					犯則時価 300 萬圓以上 500 萬圓未 満 의 累犯	当該船舶 外航運航制限 3 月		
		犯則時価 1,000 萬圓以 上	臨時変更証 発給制限 6 月					1,000 萬圓以 上 1,500 萬 圓 未満의 初犯	"		
		犯則時価 100 萬圓以上 500 萬圓未 満 再犯	臨時変更証 発給制限 3 月					犯則時価 500 萬圓以上 1,000 萬圓未 満의 累犯 1,500 萬圓以 上 2,000 萬 圓未満의 初犯	当該船舶 外航運航制限 6 月 "		



現 行						改 正					
類 型	違反法条	行 政 制 裁		関 係 法 規	所管部処	類 型	違反法条	行 政 制 裁		関 係 法 規	所管部処
		基 準	内 容					基 準	内 容		
4. 航空 機乗務員 (女子乗 務員包含)	関税法 第 179 条 乃至 第 182 条	犯則時価 500 萬圓以上 1,000 萬圓未満 再犯	臨時変更証 発給制限 6 月	航空法第 27 条	交 通 部	外航船乗 務員と 統合		犯則時価 1,000 萬圓以 上の 累犯 2,000 萬圓以 上の 初犯	当該船舶外 航運航制限 1 年 "	同 一	(交通部)
		犯則時価 1,000 萬圓以上 再犯	臨時変更証 発給制限 1 年								
		犯則時価 30 萬圓以上 50 萬圓未満	外航禁止 3 月					外航船乗務員と 同一	同 一		
		犯則時価 50 萬圓以上 100 萬圓未満	外航禁止 6 月								

現 行						改 正					
類 型	違反法条	行 政 制 裁		関 係 法 規	所管部処	類 型	違反法条	行 政 制 裁		関 係 法 規	所管部処
		基 準	内 容					基 準	内 容		
2. 旅行者密輸 (別送品 包含)		犯則時価 100 萬圓以上 또는 30 萬圓 以上 再犯	外航禁止 1 年			2. 一般 人密輸 (僑胞 및 外国人除 外)					
가. 内国人	関税法第 179 条乃至第 182 条	犯則時価 200 萬圓以上 300 萬圓未滿	1 年間旅券 発給制限 및 回收	① 旅券法第 8 条 ② 同法第 11 条	外 務 部	가. 旅行 者 密輸 (別送品 包含)	関税法 第 179 条 乃至 第 182 条	犯則時価 200 萬圓以上 500 萬圓未滿 의 初犯  犯則時価 200 萬圓以上 500 萬圓未滿 의 累犯	1 年間旅券 発給制限 및 回收并 出国禁止  2 年間 旅券 発給制限 및 回收并, 出国 禁止	旅券法第 8 条 및 第 11 条	外 務 部

現 行						改 正					
類 型	違反法条	行 政 制 裁		関 係 法 規	所管部処	類 型	違反法条	行 政 制 裁		関 係 法 規	所管部処
		基 準	内 容					基 準	内 容		
4. 僑胞		犯則時価 300 萬圓以上 500 萬圓未満	2 年間旅券 発給制限 및 回收			4. 其他 密輸 A P O P . X 国際郵便 小包品輸 託送品輸 密輸		犯則時価 500 萬圓以上 의 初犯	2 年間旅券 発給制限 및 回收와 出国 禁止	出入国管理 法第 4 条	法 務 部
		犯則時価 500 萬圓以上 또는 200 萬 圓以上 再犯	3 年間旅券 発給制限 및 回收					犯則時価 500 萬圓以上 의 累犯	3 年間旅券 発給制限 및 回收와 出国 禁止		
		犯則時価 200 萬圓以上 300 萬圓未満	1 年間旅券発 給等 制限			削 除					
	関税法第 179 条乃 至第 182 条			旅券法第 6 条	外 務 部						

現 行						改 正					
類 型	違反法条	行 政 制 裁		関 係 法 規	所 管 部 処	類 型	違反法条	行 政 制 裁		関 係 法 規	所 管 部 処
		基 準	内 容					基 準	内 容		
4. 外国人	関税法 第 179 条乃至 第 182 条	犯則時価 300 萬圓以上 500 萬圓未満	2 年間旅券 発給等 制 限	出入国管理 法第 12 条  出入国管理 法第 50 条	法 務 部	削 除					
		犯則時価 500 萬圓以上 또는 200 萬 圓以上 再犯	3 年間旅券 発給等 制 限								
		犯則時価 200 萬圓以上 300 萬圓未満	1 年間入国 査証発給 및 入国禁止								
		犯則時価 300 萬圓以上 500 萬圓未満	2 年間入国 査証発給 및 入国禁止								

現 行						改 正					
類 型	違反法条	行 政 制 裁		関 係 法 規	所 管 部 処	類 型	違反法条	行 政 制 裁		関 係 法 規	所 管 部 処
		基 準	内 容					基 準	内 容		
		犯則時価 600 萬圓以上 또는 200 萬 圓以上 再犯	強制退去 3 年間 入 国査証発給 및 入国禁 止								

現 行						改 正					
(2) 其他의 密輸						(2) 其他의 密輸					
類 型	違反法条	行 政 制 裁		● 關係法規	所管部処	類 型	違反法条	行 政 制 裁		關 係 法 規	所 管 部 処
		基 準	内 容					基 準	内 容		
1. 外国人 密 輸 (SOFA 对 対象者除外)	関税法第 179 条 乃至第 182 条	犯則時価 200 萬圓以上 300 萬圓未満	1 年間入国 査証発給受 入国禁止	出入国管理 法 第 12 条, 第 50 条	法 務 部	削 除					
		犯則時価 300 萬圓以上 500 萬圓未満	2 年間入国 査証発給受 入国禁止								
		犯則時価 500 萬圓以上 至 200 萬 圓以上 再犯	強制退去 3 年間入国 査証発給受 入国禁止								
2. 内国人 密 輸	関税法 第179条 乃至 第 182 条	APO, PX 国際 郵便小包 受 託送品密輸				一般入 制裁呈 統合					

現 行						改 正					
類 型	違反法条	行 政 制 裁		関 係 法 規	所管部処	類 型	違反法条	行 政 制 裁		関 係 法 規	所管部 署
		基 準	内 容					基 準	内 容		
		犯則時価 200 萬圓以上 300 萬圓未満	1 年間旅券 発給制限あり 回収と 出国 禁止	① 旅券法第 8 条, 第 11 条 ② 出入国管 理法第 4 条	外 務 部 法 務 部	一般人 制裁を 統合					
		犯則時価 300 萬圓以上 500 萬圓未満	2 年間旅券 発給制限あり 回収と 出国 禁止								
		犯則時価 500 萬圓以上 또는 200 萬 圓以上 再犯	3 年間旅券 発給制限 あり 回収と 出国 禁止								

現 行						改 正					
4. 業務關聯密輸						4. 業務關聯密輸					
(1) 關稅士等，指定保稅運送人 및 特許保稅區域 設営人의 密輸						(1) 關稅士等，指定保稅運送人 및 特許保稅區域 設営人의 密輸					
類 型	違反法条	行 政 制 裁		關係法規	所管部処	類 型	違反法条	行 政 制 裁		關係法規	所管部処
		基 準	内 容					基 準	内 容		
1. 關稅士等（通關業者，通關法人，關稅士）	關稅法第179条乃至第182条	그 使用人이 本人의 業務에 關하여 密輸에 關한 때	1 年以下の 業務停止	① 關稅法 第 160 条의 3, 第 168 条 ② 通關業運營要綱第 25 条, 第 45 条	關 稅 庁	現行과 同					
		關稅士等이 密輸에 關한 때	登録 및 許可取消								
2. 指定保稅運送人	關稅法第179条乃至第182条	그 使用人이 本人의 業務에 關하여 密輸에 關한 때	1 年以下の 營業停止	保稅運送運營要綱第 42 条	關 稅 庁						





現 行						改 正					
(2) 港灣内業者의 密輸						(2) 港灣内業者의 密輸					
類 型	違反法条	行 政 制 裁		關係法規	所管部処	類 型	違反法条	行 政 制 裁		關係法規	所管部処
		基 準	内 容					基 準	内 容		
1. 港灣運送事業人	関税法第179条乃至第182条	그 使用인이 本人의 業務에 關하여 密輸에 關与한때	1 年以下の 營業停止	① 港灣運送事業法第26条 및 同法第8条	海運港灣庁	現行과 同					
		事業인이 密輸에 關与한때	營業取消								
2. 港灣附帯事業者	関税法第179条乃至第182条	그 使用인이 本人의 業務에 關하여 密輸에 關与한때	6 月以下の 營業停止	港灣運送事業法第26条의 2	〃						
		營業자가 密輸에 關与한때	營業取消								

現 行						改 正					
(3) 오판商 및 輸出入業者의 密輸(使用人이 本人의 業務에 關하여 密輸行爲를 한 境遇 包含)						(3) 오판商 및 輸出入業者의 密輸(使用人이 本人의 業務에 關하여 密輸行爲를 한 境遇 包含)					
類 型	違反法条	行 政 制 裁		關 係 法 規	所 管 部 処	類 型	違反法条	行 政 制 裁		關 係 法 規	所 管 部 処
		基 準	内 容					基 準	内 容		
1. 오판商	關稅法 第 179 条(第 182条)	犯則時価不問	1 年以下 營業停止	貿易去來法 第 30 条	商 工 部	1. 오판商 및 輸 入業者	關稅法 第 179 条(第 182条)	犯則時価不問	1 年以下的 營業停止	貿易去來法 第 30 条	商 工 部
	關稅法 第 180 条(第 182条)	關稅通脫稅額 100 萬圓以上	1 年以下 營業停止	"			關稅法 第 180 条(第 182条)	關稅通脫稅額 300 萬圓以上	"	"	"
	關稅法 第 181 条(第 182条)	犯則物品原価 200 萬圓以上	1 年以下 營業停止	"			關稅法 第 181 条(第 182条)	犯則物品原価 500 萬圓以上	"	"	"
		關稅法第 179 条 違反再犯,	登録取消	"				上記各基準의 累犯	登録 또는 許可取消	"	"

現 行						改 正					
類 型	違反法条	行 政 制 裁		關係法規	所管部処	類 型	違反法条	行 政 制 裁		關係法規	所管部処
		基 準	内 容					基 準	内 容		
2. 輸出入 業 者	関税法第 179 条 (第182 条)	関税通脱税額 100 萬圓以上 再犯									
		犯則物品原価 200 萬圓以上 再犯									
	関税法第 180 条 (第 182 条)	関税通脱税額 100 萬圓以上	6 月以下の 一部 또는 全部 營業 停止	貿易去來法 第 30 条	商 工 部	외국인 통제 법					

現 行						改 正					
類 型	違反法条	行 政 制 裁		關係法規	所 管 部 処	類 型	違反法条	行 政 制 裁		關係法規	所 管 部 処
		基 準	内 容					基 準	内 容		
	関税法第 181 条 ( 第 182 条 )	犯則物品原価 200 萬圓以上	6 月以下の 一部 또는 全部 營業 停止								
	関税法第 186 条 の 2 第 1 項	減免關稅額 500 萬圓 以上	”								
		関税法第 179 条 違反再犯，關稅 通脫稅額 100 萬 圓以上再犯。 犯則物品原価 200 萬圓以上 再犯減免關稅額 500 萬圓以上 再犯	許可取消								

現 行						改 正					
類 型	違反法条	行 政 制 裁		關係法規	所管部処	類 型	違反法条	行 政 制 裁		關係法規	所管部処
		基 準	内 容					基 準	内 容		
3. 輸入貨主(実貨主)	関税法第179条	犯則時価不問	保税制度上 諸特惠の 一部 또는 全部剝奪		関 税 庁	2. 輸入貨主(実貨主) 및 輸出品 製造業者	関税法第179条 (第182条)	犯則時価不問	1年以下의 関税制度上 諸特惠支援 의 一部 또는 全部 中止		関 税 庁
	関税法第180条 (第182条)	関税通脱税額 100萬圓以上	"				関税法第180条 (第182条)	関税通脱税 額 300萬圓 以上	"		
	関税法第181条 (第182条)	犯則物品原価 200萬圓以上					関税法第181条 (第182號)	犯則物品 原 価 500萬圓以上	"		
	関税法第186条の 2条1項	減免関税額 500萬圓以上						上記 各基準 의 累犯	1年以上 2年 以下 関税制度 上 諸特惠 및 支援의 一部 또는全部 中止		

現 行						改 正					
類 型	違反法条	行 政 制 裁		關係法規	所管部処	類 型	違反法条	行 政 制 裁		關係法規	所管部処
		基 準	内 容					基 準	内 容		
4. 輸 出 物 品製造業者	関税法第 179 条 (第182条)	犯則時価不問	関税制度上 의一部또는全 部支援中止		関 税 庁	輸入貨主 制裁外 統合					
	関 税 法 第 180 条 (第182条)	関税通脱税額 100 萬圓以上	"								
	関 税 法 第 181 条 (第182条)	犯則物品原価 200 萬圓以上	"								
	関 税 法 第 186 条 의 2 第1項	関税減免税額 500 萬圓以上	"		関 税 庁 韓国銀行						
		関税法第 179 条違反再犯,	関税制度上 의一部또는								

現 行						改 正					
類 型	違反法条	行 政 制 裁		關係法規	所管部処	類 型	違反法条	行 政 制 裁		關係法規	所管部処
		基 準	内 容					基 準	内 容		
		関税通脱税 額 100 萬圓 以上再犯, 犯則物品原 価 200 萬圓 以上再犯, 関税減免税 額 500 萬圓 以上再犯	全部支援 및 輸出金融上 의 一部 또는 全部 支援制限								
다. 公務員等の 密輸 公務員, 国营企業体 및 政府管理企業体の 任職員에 對하여는 懲戒 또는 罷免措置한다.						다. 公務員等の 密輸 現 行 과 同					